

<名東すまあとデー ～9月を振り返って～>

7月より始まった「名東すまあとデー」ですが、児童相互の良好な関係をつくることを目指し、本校の課題でもあった「あいさつ」に重点を置いて、今年度取り組んでいます。

9月は、「元気よくあいさつをしよう」というテーマで取り組みました。登下校の様子を見ていると、大きな声で、自分からあいさつする児童が増えました。10月は、また別のテーマで取り組み、継続してあいさつについて伝えていくことで、あいさつができる児童がいっぱいの名東小になれるように子どもたちと一緒に取り組んでいきます。ご家庭でも話題にさせていただき、元気よくあいさつできる名東小の子どもたちを育てていきたいと思えます。ご協力をお願いします。



<令和5年度学校努力点の取り組み紹介>

本年度は、「個別最適な学び」を目指して、タブレット端末の効果的な活用法について、追究しています。夏季休業中に、教職員のタブレットの活用能力の向上をねらい、校内で学習会を行いました。児童が学習で使う、キュービナ（AIドリル）やロイロノートの活用法について、教職員が講師となって学習会を行いました。実際に授業を行う教職員が、講師となることで、具体的な場面を想定した内容となったり、他者に教える中で、講師である教職員の理解も深まったりする利点があります。これは、子どもたちも同様で、他者に伝える中で、理解を深めていくことがあるので、仲間との対話は、大切なのだなと感じます。

子どもたち一人一人が、わくわくと気持ちを高めて学習に取り組めるように、教職員一同、学校努力点に取り組んでいきます。

< ICTを活用した授業～協働的な学びの姿～>

体育の授業の様子です。この授業では、マット運動で開脚前転を行いました。正しい姿勢で回転でき、起き上がることを目標として取り組んでいました。タブレットを使って、動画を撮り、映像から回転の姿勢や勢い、手の着き方など、互いの動きを撮影した動画で確認しました。

「ここで足を開くといいんじゃない」

「もっと手で押すようにすると立てると思うよ」など、それぞれの動きを見て気付いたことを、アドバイスをする姿が見られました。そのアドバイスをもとに自身の課題を明らかにした児童は、その後練習を重ね、多くの児童が、「開脚前転ができた」と達成感を味わい、わくわく度をアップさせていました。

学校のよさは、一人で学ぶではなく、仲間と学ぶ（協働的な学び）ことができることです。様々な考えに触れ、自身の考えを見つめ直したり、新しい考えに気付いたりすることは、これからの社会を担う子どもたちが、活躍する上で大切な経験だと考えます。

